



道立消費生活センター 商品テストの機器紹介



北海道立消費生活センターの商品テスト室は日ごろより、消費者から相談のあった商品について無料でテストを行っています。また、市場に流通している商品の品質や性能を調べ、消費者へ商品情報を提供することを目的とした試買テストも実施しています。

そこで今回は、どのような機器を使ってテストをしているのか、いくつか紹介したいと思います。道民の皆さまの商品トラブルの原因究明や疑問、テスト事例も交えて紹介します。今後も道立消費生活センター商品テスト室をご活用ください。

蛍光エックス線装置

どんな金属がふくまれているの？



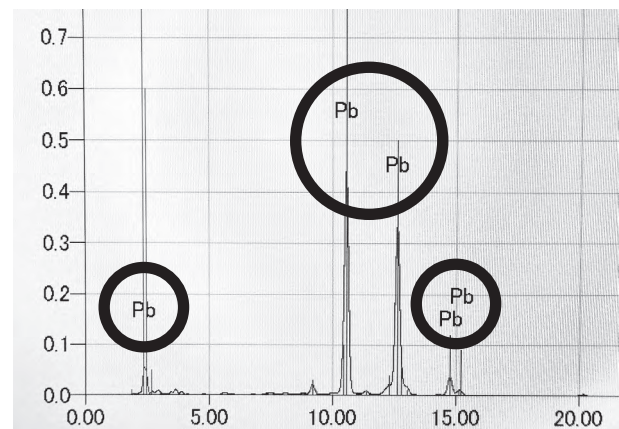
蛍光エックス線装置で酒燗容器を測定

この装置では、試料に含まれている元素組成がわかります。特にどんな金属が含まれて

いるのかをテストするときに活躍する機械です。

事例としては「海外で24金と言われて購入したアクセサリが本物が調べてほしい」「子どもにカチューシャを使用したところ、皮膚障害が発生したため、アレルギーの原因となるニッケルが含まれていないか調べてほしい」などの内容に対応します。

過去には、中国土産で購入した酒燗（かん）容器を調べたところ、日本では禁止されている有害金属の鉛だったという事例もありました。



酒燗容器のテスト結果：鉛（Pb）の値のピークを検出

高速液体クロマトグラフ

食品添加物を測定

食品添加物の有無を調べる際に活躍します。具体的には糖類、甘味料、保存料のテストなどに対応しています。過去には、はちみつの種類の違いにより糖組成に違いがあることなどがわかりました。

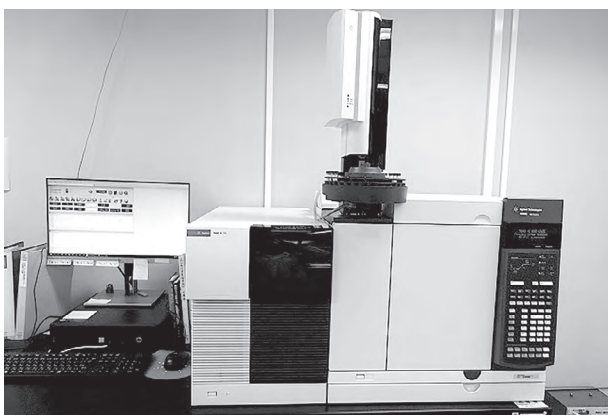
また、糖質、カロリー低減をうたった缶チューハイの甘味料（アセスルファムカリウム、スクラロース）などの試買テストも行いました。



〈高速液体クロマトグラフ〉

ガスクロマトグラフ質量分析計

約400種類の農薬測定



〈ガスクロマトグラフ質量分析計〉

この機器では約400種類の農薬の測定が可能です。現在、海外から輸入された野菜や果物などたくさんの生鮮品が販売されています。農薬や防カビ剤などの残留を心配する消費者も少なくありません。過去の試買テストではこれら生鮮品のほかブロッコリーやカリフラワーなどの冷凍野菜や冷凍ベリー類などの残留農薬テストも行っています。

自動滴定装置

電位差を利用して測定

電極を用いた電位差を利用して物質の濃度を測定する機器です。

最近では生活習慣病予防の観点から、塩分に関する依頼が多く、主に食品の塩化物イオンの測定に使用しています。現在、「塩分〇%カット」などの表示のある食品も多く販売されています。

インスタント味噌汁の塩分濃度測定など身近なものも依頼品として受け付けています。気になる食品があれば当センター商品テスト室へお持ち込みください。



〈自動滴定装置〉



調べてほしいことはありませんか？

今回掲載した事例以外にも繊維の色落ちテスト、電気製品の異常過熱、消費電力の測定など可能です。

ご希望の方は北海道立消費生活センターへお問い合わせください（相談専用電話050-7505-0999）。なお、テストは無料ですが、テスト品の送料は負担ください。

